

いこま もっと知ろう、いこまのこれから。 市議会のうごき

No. 155

令和 5年 (2023年)

6月定例会

3月 **6月** 9月 12月



5月臨時会・6月定例会 議会役員を決定

INDEX

議案審議	P.2-3
一般質問	P.4-8
議会のうごき	P.8
議決結果	P.9
正副議長就任あいさつ	P.10

5月臨時会・6月定例会 議案審議

選挙後初めての議会で議会役員を決定

議員の任期満了にともなう、統一地方選挙後初めての臨時会を5月15日(月)に開会し、正副議長の選挙をはじめ、議会選出監査委員の選任など議会役員を決定しました。

議長に吉村善明 議員副議長に恵比須幹夫議員

本会議での投票の結果、吉村善明議員が第53代議長に当選しました。続いて、副議長選挙を行い、投票の結果、恵比須幹夫議員が第53代副議長に当選しました。

監査委員に白本和久議員

議会選出の監査委員に白本和久議員を選任することに異議なく同意しました。また、常任委員会(総務市民、厚生文教、経済建設、予算、議会運営委員会)の委員を選任するとともに、各委員会の委員長および副委員長を決定しました。

新議会役員は、議会ホームページに掲載しております。

議員役員構成表はこちら▼



副市長の選任に同意

6月定例会では、山本昇副市長を引き続き選任する議案が提案され、同意しました。任期は、令和5年6月から4年間です。

人事案件を審議

6月定例会では、人事案件2件が提案され、同意しました。

○病院事業推進委員会委員

伊木まり子議員

○農業委員会委員

- 稲葉健三さん 松尾克巳さん
- 奥野通孝さん 岩前利典さん
- 山角ひろ子さん 田中良治さん
- 今井正徳さん 中井啓一さん
- 有山富士美さん 岡田啓秀さん

奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員を決定

5月11日に奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙が告示され、次のとおり決定しました。

- 福中眞美 (生駒市議会)
- 森本尚順 (大和高田市議会)
- 西川貴雄 (大和郡山市議会)
- 大橋基之 (天理市議会)
- 札辻輝巳 (桜井市議会)

意見書を国に提出

○特別支援教育への国の対応拡充を求める意見書

1 特別支援教育支援員の適切な配置

障がいのある児童・生徒に対し、食事、排泄、教室移動の補助など学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童・生徒に対し、学習活動上のサポートなどを行う特別支援教育支援員の適切な配置への支援をすること。

2 特別支援教育コーディネーターの適切な配置

保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉・医療などの関係機関との連絡調整の役割を担い、子どもたちのニーズに合わせた支援をサポートする特別支援教育コーディネーターの適切な配置への支援をすること。

3 看護師などの専門家の適切な配置

医療的ケアが必要な子どもや、障がいのある子どもへの支援を的確に実施するために、看護師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士などの専門家の必要に応じた適切な配置への支援をすること。

4 特別支援学校のセンター的機能の強化

各学校でインクルーシブ教育を一体

的に進めるために、担当の教員だけでなく学校長などに対する指導や研修などを実施し、校内全体での取組を促進するために、特別支援学校のセンター的機能強化への支援をすること。

5 特別支援教育デジタル支援員(仮称)の配置

GIGAスクール構想により整備された1人1台の端末を、特別支援学級や特別支援学校において、授業はもとより、個々の特性や教育的ニーズに応じた支援ツールとして有効に活用するための特別支援教育デジタル支援員(仮称)の配置への支援をすること。

6 特別支援学校教諭免許状の取得支援

特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状の取得率は87.2%となっており、特別支援学校における教育の質の向上の観点から、教職員への取得支援の強化や、大学などにおける特別支援教育に関する科目の修得促進など、教職員に対する特別支援学校教諭免許状の取得への支援をすること。併せて、特別免許状についても強力に推進すること。

意見書の全文はこちら▼



令和5年度一般会計補正予算のおもな内容

一般会計補正予算を可決

項目	補正額
学校給食費無償化（2カ月分）	8,740万円
飲食・物販店等支援に係る補助金	9,995万円
公共交通事業者への燃料費上昇分の支援	2,045万円
生駒小学校の普通教室への改修に係る経費	4,021万円

5月臨時会では、国からの臨時交付金8740万円を活用し、小・中学校の給食費を無償化（2カ月分）するための補正予算が提案され、全会一致で可決されました。

また、6月定例会では、歳入歳出ともに6億7663万8000円を追加する補正予算が提案されました。

おもな内容は、生駒小学校の生徒数増加にともなう普通教室への改修に係る経費、省エネ家電買い換えのための補助金に係る経費、公共交通事業者を対象に燃料費上昇分の一部を支援するための経費および物価高騰の影響を受ける市内事業者支援として実施されてきた「さきめしいこま+プレミアムキャンペーン」を市商工会議所が実施することから、当該事業を支援するための同会議所への補助に係る経費などです。

予算委員会では、これまで委託事業で行われていた「さきめしいこま」の事業が、市商工会議所への補助により実施されることは、業者選定の競争性が働かないことおよび事務に係る経費を増額しているとの理由から、同事業の予算9994万6000円を減額する修正案が提出されました。委員会の採決の結果修正案は否決され、原案を賛成多数で可決するとともに、本会議においても原案を賛成多数で可決しました。

賛成討論の論点

○日ごろから市内事業者を支援している市商工会議所へ補助金を交付することで独自の取組と連動させ、市民生活の応援と地元の活性化が期待できるとともに事業をスピーディーに執行できる。

反対討論の論点

○適正で透明性の高い補助金制度を構築するため指針を定めているが、市商工会議所への補助金とすることは、改定されたばかりの指針を拡大解釈しており、本市の行政改革や市民協働の精神をゆがめる。

総合計画特別委員会を設置

第6次生駒市総合計画第2期基本計画について審査するため、総合計画特別委員会を設置しました。

○総合計画特別委員会

- 塩見牧子委員長 改正大祐副委員長
- 福中真美委員 浜田佳資委員
- 山下一哉委員 中尾節子委員
- 梶井憲子委員 橋本宏淳委員

常任委員会のテーマを定めた調査の実施を決定

所管の事務を調査し、政策立案および提言につなげる「テーマを定めた調査」を実施することを決定しました。

- 総務市民委員会
- 厚生文教委員会
- 子育て支援について
- 経済建設委員会
- 地域公共交通について

委員会の調査報告

経済建設委員会

○スマートシティ構想について

経済建設委員会では、人口減少、少子高齢化および自然災害などの様々な課題を解決し、市を取り巻く環境や社会ニーズの多様化、複雑化に対応するため、市民などとともにデジタル技術を活用した多様な生き方や暮らし方を實現する「スマートシティ」の構築に向け、取組の指針となるスマートシティ構想の策定に向けたパブリックコメントの実施と素案の概要について報告を受け、質疑を行いました。

＼ここが知りたい！／

本会議の一般質問

6月
8日～12日
定例会

質問者数 **13** 人

掲載以外の質問内容もありますので、
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。
QRコードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

重層的支援体制整備事業について
竹内ひろみ議員（日本共産党）

問 様々な分野の「くらしの困りごと」に対応するため、既存の各相談窓口を「いこまる相談窓口」と位置付け、分野を問わず相談を受け止め支援するというが、その人員や体制はどのようにするのか。

答 既存の支援機関などの人員と機能や専門性をいかし、一次相談では分野以外の相談もいったん受け止め、複雑化・複合化した困難ケースは、二次相談として福祉政策課に配置する主任推進員が中心となり、コーディネートや後方支援を行う。

問 伴走型支援やアウトリーチが重視されているが、非常に人手も時間もかかる支援をどのように行うのか。

答 関係機関とのネットワークなどの中から潜在的な相談者を見つけ、本人との信頼関係の構築に向けた支援を行うため、心理専門職などの資格と実務経験を有する担当者を検討するとともに、先行して実施する自治体などの体制を参考にしたい。

問 地域の方や既存の相談支援機関との協力が重視されているが、どのようにするのか。

答 民生委員・児童委員、自治会や市内活動団体などが日々の活動で得た情報を積極的に担当課や主任推進員につなげる体制を考えている。

竹内ひろみ
議員▼



妊娠中から産後までの切れ目ない支援について
高杉千代子議員（無党派）

問 妊娠届に関するアンケートの中で「経済的に不安を抱えている」、「困窮している」と回答した方へ福祉サービスの情報提供は行われているか。

答 福祉サービスや関連機関の情報提供を行うとともに、地区担当保健師とマタニティコンシェルジュが連携して家庭訪問、電話、面談を行う場合もある。妊娠届出時には出産育児一時金について説明するとともに、他にも様々な制度があることから、支援を行う中で、必要な時期に必要な情報について助言を行っている。

問 妊娠中から産後までの伴走型支援について大阪市が実施しているマインド産師制度のような取組が必要と考えるかどのように取り組むのか。

答 本市では妊娠8カ月目となる方にアンケートを送付し、地区担当保健師が、面談、電話連絡を行うことで伴走型支援を行っており、出産後の心配ごとについては、全件電話での支援に取り組んでいる。

問 産後ケア事業の利用者が少ない理由は。

答 令和4年度までは一定の条件に該当する方のみ利用となっていたが、本年度から条件を緩和しており、今後利用者が増えると考えている。

高杉千代子
議員①▼



高杉千代子
議員②▼



保育の質の確保について
成田智樹議員（生駒市議会公明党）

問 こども家庭庁は、22年4月から12月に全国の認可保育所で「不適切な保育」914件、うち「虐待」90件が確認されたとの調査結果を公表した。調査概要と本市の状況は。

答 不適切な保育の通報への対応や体制づくりなどを目的として、不適切な保育が疑われた事案や事実、体制整備などについて調査が行われた。本市の状況は、心理的虐待疑いとして事実確認を1件行ったが、調査の結果該当しないことが判明した。

問 虐待の事実を把握し、対応するための体制は整備されているか。

答 指導主事を中心に、園児の安全確保を最優先に初動対応や緊急性を判断し、国の手引きを準用し対応しているが、実態に即した独自マニュアルを整備する予定である。

問 不適切な保育や虐待を未然に防止するための具体策は。

答 昨年の報道以前から、国の手引きなどの周知、公立園での研修、公開保育や私立園への巡回指導を行うとともに、保育士の意識向上や職場環境の整備に取り組んでいる。

成田智樹
議員▼



他の項目

●HPVワクチンの男性への接種費用助成について



子どもたちの未来のために

子どもたちの声を積極的に市の施策にいかす取組の推進について

神山さとし議員（無党派）

問 こどもまんなか社会実現のため、こども基本法を正確に理解できる段階的な情報提供を市民全体に実施すべきではないか。

答 子どもの活動や学びを広く知ってもらい、子どもの意見の醸成に関わるすべての大人のために、今後進めていく施策について段階的な情報提供を行っていききたい。

問 こども基本法にのっとって子どもと大人が一緒に議論し、子どもが中心的存在として意見表明できる機会を作るべきではないか。

答 これまでも食育計画策定の際のアンケートや職業体験での未来の学校の提案など意見聴取の機会を設けており、今後も第3次教育大綱の策定時など、積極的に機会を作りたい。

問 子どもを取り巻く問題解決のために子ども自身が市の施策を議論し、問題提起し、市はその意見を課題と受け止めて子ども未来会議で真剣に協議すべきではないか。

答 子どもの意見を様々な施策にいかすことは重要で、取り組まなければならないと考え。子ども未来会議にかかわらず、各課で把握している子どもの意見の共有を図り、施策につなげる仕組みを今後検討したい。



神山さとし議員

第6期生駒市障がい者福祉計画について

福中眞美議員（原翔 絆）

問 障がい者は増加傾向にあり、共生社会の実現には市民の障がい者への理解度を高めることが必要不可欠だと考えるが、市の見解は。

答 障がいのある方が地域で安心して生活できる環境づくりのためには、障がい者理解を市民全体へ広げていくことが非常に重要であると考え。

問 障がい者の就労支援は、商工観光課と連携し、民間企業へ働きかけることが必要ではないか。

答 少子化の中、多様な働き方や多様な人を採用し、経営の生産性を上げることも重要だと考えることから、しっかりと連携していきたい。

問 授産品販路拡大と障がい者理解のために、市役所1階ロビーで出張販売をしてはどうか。

答 フロアが混み合う時期もあるため、庁舎管理者や1階の各課、就労支援事業所などと今後検討したい。



福中眞美議員

発達に不安のある子どもの保護者アンケートについて

伊木まり子議員（無党派）

問 アンケートは今年度の障害児福祉計画策定に際し実施するが、前回のものと比較して具体的な成果としては何を期待しているのか。

答 年齢や所属、障がいの状況別に分析することにより、それぞれの属性やステージにおける課題を抽出し、施策展開していきたい。

問 アンケート実施前に行政と医療（医師も含む）・福祉・教育関係者がざくばらんに話し合う必要があると考えるが、どのように考えるか。

答 自立支援協議会のことも支援部会において、関係者間の情報共有や支援のための活動を行っている。よりフランクな場については、関係者の声を聞きながら検討したい。

問 子ども本人に対するアンケートの実施について、考えは。

答 子ども本人の声をしっかりと拾い、子どもの視点に立った支援を行うため、保護者向けアンケートに子ども本人の意向確認項目を設ける。さらに、事業所向けアンケートに日ごろから把握している当事者の声を反映してもらうことや、子ども本人が回答する障害者手帳所持者向けアンケートも活用し、より直接的・効果的な手法を検討していく。



伊木まり子議員



大切なペットにも災害対策を

災害時におけるペットとの同行避難について



山下一哉議員（生駒市議会公明党）

問 8割近くのペットが室内で飼われているという現状の中で、ペットの避難として、同行避難ではなく同伴避難ということは想定しているか。

答 ペットの避難として同伴避難も想定しているが、具体的な内容は、避難所ごとにルールを事前に決めておく必要があると考えている。

問 災害時における離散防止のためペットに装着するマイクロチップについて、その効果と、市として装着への助成に対する見解は。

答 災害時のみならず、迷子、盗難、事故などの場合も飼い主の確認が容易であり、飼育放棄を減らす効果などを認識しているが、装着が進まない理由が費用自体にあると考えにくいため、制度やメリットの周知とともに、装着の推移などの状況を見極めながら、助成を先進的に実施する自治体を参考に、必要性や財源も含めて研究していくべきと考えている。

問 ペットの同行避難について、市民に何らかの周知を行っているか。

答 市のホームページでペットの災害対策を掲載するとともに、各自治会や自主防災会の防災講座や訓練において、地域防災計画避難所運営マニュアルを用いて周知している。

学校給食のアレルギー対応について



辰口綾子議員（日本維新の会）

問 本市の食物アレルギー対応給食（以下、「対応食」とする）の取組は。

答 対応食を希望する児童・生徒からの申請を受け、保護者と学校の管理職をはじめ関係職員が面談を行った資料を作成し、アレルギー対応懇話会から意見をもらい、提供を決定している。提供は細心の注意を払い、毎月、保護者と給食センターの間で連絡を取り、除去申請書などの内容の共通理解を図っている。

問 対応食を提供している児童・生徒数および弁当持参など家庭負担で賄われている児童・生徒数は。

答 対応食を提供しているのは小学生63名、中学生16名であり、弁当持参など家庭負担で賄われているのは小学生6名、中学生3名である。

問 給食費無償化対象外とされているアレルギーを理由に給食を食べられない児童・生徒への対応について、課題や今後の取組はどうか考えるか。

答 公平性の観点から課題があることは認識しており、今後無償化の実施を行ううえで併せて対応を検討したい。

他の項目

●小中学校における熱中症対応について

市長の基本施策について



浜田佳資議員（日本共産党）

問 市長選で掲げた高山第2工区への音楽・文化芸術ホールの整備などの施設整備と公共施設マネジメント推進計画との関係はどうか。

答 新たな公共施設の整備にあたっては、計画で掲げる総量の最適化、財政負担の抑制、平準化を図ることが基本となるが、市民ニーズや施設の集約化、民間活力の導入などの整備手法をふまえ、検討したい。

問 市長選で掲げた多岐にわたる内容の実現に向けた取組について、市の財政見通しをふまえた第3次生駒市行政改革大綱との関係はどうか。

答 事務事業の見直し、収益確保の取組などを進め、行政改革大綱の基本目標である持続可能な行財政運営の実現と矛盾しない形で新たな施策に取り組む。

問 市の中長期的課題への取組はどう戦略的に行われるのか。

答 中長期的な課題への取組を進めるため、現在市総合計画の第2期基本計画の策定に力を入れて取り組んでいる。ベッドタウンから卒業し、住むだけでなく、働くこと、遊ぶことなど多様な暮らし方ができない、個人事業主などからも選ばれるまちにするための取組を進める。



生駒駅近辺の指定喫煙場所

喫煙マナーの向上について

梶井恵子議員（日本維新の会）

問 分煙化が進み、本市でも「歩きタバコ及び路上喫煙の防止に関する条例」が施行されているが、東生駒駅周辺では喫煙所がないため、タバコのポイ捨てが多く見受けられる。適切に喫煙所を設けることが必要と考えるが、今後の対策は。

答 東生駒駅周辺では、鉄道事業者と喫煙所の設置について協議を重ねた結果、協力を得ることが出来なかったが、今後もポイ捨ての現状と喫煙所の必要性を理解いただきながら協議を重ねるとともに、乗降客にも条例の趣旨や健康被害など効果的な啓発を行っていききたい。

問 喫煙マナーの向上を応援するサポーター制度の導入について、市の考えはどうか。

答 市民、事業者などの協力を得ることで喫煙マナーは向上すると考えるが、他市の事例も参考にしつつ、本市の状況に合った体制づくりを検討していきたい。

問 生駒駅近辺の指定喫煙場所の移設に際し、紙巻タバコ煙の少ない加熱式タバコとの分離喫煙の検討は。

答 移設の候補地に十分なスペースが確保できる場合は分離喫煙も考えられるが、分離することによるデメリットも含めて検討したい。

持続可能な組織づくりへ

改正大祐議員（凜翔 絆）

問 川越市が実施したハラスメントの実態を把握し、再発防止策の検討などを行うことを目的とした、ハラスメントに関する職員アンケートを本市でも実施してはどうか。

答 ハラスメントの問題が大きくなる前に実態を把握し、対応ができればより良い職場をつくっていきけると考えるので、川越市の事例を研究し、前向きに検討していきたい。

問 ハラスメント調査委員会が中立である人事課が私見を述べることは審議に影響があり、相談者からすると人事課の対応は疑問に感じる。人事課の対応は、ハラスメントに対する意識が欠如していると思うが、市の見解は。

答 同調査委員会は、弁護士と職員で運営を行っているが、事案に対して早急な回答をすることが難しいことおよび人事課の職員が公正・公平に職務に専念していると思うが、不公平な対応をしているとの見方もできてしまうことから、本年3月に公正・公平かつ迅速な対応をするための体制を整備するために、ハラスメントに関する相談窓口を第三者機関へ委託することの検証を指示し、本年9月からの運用開始を目指し、準備を進めている。

公務員の政治的中立の確保について

塩見牧子議員（無党派）

問 本年4月11日の部長会で市長の後援会ニュースが配布され、一部は係員にも配布されたが、地方公務員法、公職選挙法などに照らし合わせて問題ではないか。

答 現市長の3期目に向けての考えを部長間で情報共有することが目的で、選挙に関係して特定の人を支持または反対する目的で行ったものではないことから問題ないと考える。

また、庁舎の秩序維持などを妨げるものではないことから庁舎管理規則における禁止行為にも該当しない。

問 市長選のもうひとりの予定候補のニュースはなぜ配らなかったのか。

答 手元になく、ニュースが存在しているかどうか不明だったため、配布出来なかった。

問 配られた職員の受け止め次第では刑事告発されてもおかしくない案件であるが、市長はこれをどう受け止め、どう対応するのか。

答 公職選挙法については全職員が最も気を付けていることであり、法の抵触などはないと考える。

他の項目

- 市長マニフェストについて
- 北大和グラウンド低炭素まちづくり事業の実現性について



梶井恵子議員①



梶井恵子議員②



改正大祐議員



塩見牧子議員

庁内の働き方改革と働きやすい環境整備について

加藤裕美議員(無党派)



問 庁内の働き方改革の推進は、職員の健康増進はもとより、市民サービスの向上にも重要だと考える。ポトムアップによる改革を推進するための取組は。

答 ワーク・ライフ・コミュニティ・バランスや公務効率化の推進のため今年度運用を見直した時差出勤制度など、日常業務の中で得た職員の意見が制度改正につながった例がある。

問 庁舎利用用途の変更による休憩場所の減少について、市の見解は。

答 現在、休憩スペースとして和室2部屋と体調不良者用の医務室1部屋を設けている。新型コロナウイルス関連業務の増加による執務室の確保のため休憩スペースを減らしたが、関連業務の縮小に合わせて、活用方法を再度検討していきたい。

問 人事評価について、上司だけでなく部下などからも評価する360度評価を導入してはどうか。

答 心理的安全性やマネジメント力の向上などに有意義であり、実施に向けて検討している。実施方法について様々な課題があるため、他市の事例をふまえて具体的な検討をしていきたい。

議会のうごき

7月	6月	5月
10日	16日	19日
27日	19日	17日
22日	20日	15日
20日	22日	8日
19日	27日	15日
16日	22日	8日
12日	27日	15日
9日	27日	15日
8日	27日	15日
5日	27日	15日
30日	27日	15日

- 8日 全員協議会
- 15日 5月臨時会本会議
- 17日 予算委員会
- 19日 5月臨時会本会議
- 30日 議会運営委員会
- 5日 議会説明会
- 8日 議会説明会
- 9日 6月定例会本会議
- 12日 6月定例会本会議
- 16日 議会運営委員会
- 19日 全員協議会
- 20日 総合計画特別委員会
- 22日 経済建設委員会
- 27日 予算委員会
- 27日 厚生文教委員会
- 27日 予算委員会
- 27日 総務市民委員会
- 27日 予算委員会
- 27日 災害対策委員会
- 27日 6月定例会本会議
- 27日 広報広聴委員会
- 27日 総務市民委員会
- 27日 広報広聴委員会

9月定例会の会議の予定

8月24日(木) 13時	議案説明会
30日(水) 10時	議会運営委員会
13時	全員協議会
9月1日(金) 13時	議案説明会
4日(月) 10時	本会議
5日(火) 10時	本会議
6日(水) 10時	本会議
7日(木) 10時	本会議
11日(月) 10時	経済建設委員会
12日(火) 10時	予算委員会
12日(火) 10時	厚生文教委員会
13日(水) 10時	予算委員会
13日(水) 10時	総務市民委員会
15日(金) 10時	予算委員会
19日(火) 10時	決算審査特別委員会
20日(水) 10時	決算審査特別委員会
21日(木) 10時	決算審査特別委員会
26日(火) 10時	本会議

予定は変更する場合がありますので、市議会のホームページをご覧ください。だくか、電話でお確かめください。

電話は、議会事務局(741-1111 内線5061)までお問い合わせください。

これからの会議



議会の傍聴にお越しください

市議会の活動状況を知るために、本会議・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会・広報広聴委員会・災害対策委員会・議案説明会および全員協議会を傍聴することができます。

議員の活動などを知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

傍聴を希望される方は、市役所5階の受付で傍聴受付票に住所と氏名を記入していただくだけで傍聴することができます。

また、インターネットでライブ中継を実施しています。市議会のホームページから、ライブ中継や過去の会議の録画映像をご覧ください。ご利用いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の感染症状上の位置づけの変更にとまいない、6月定例会よりすべての会議において、直接傍聴を再開いたしました。

ライブ中継



過去の録画配信



令和5年5月臨時会・6月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案名	議決結果	共産党		公明党		凛翔絆					維新		無	無	無	無	無	無					
		浜田佳資	竹内ひろみ	恵比須幹夫	成田智樹	山下一哉	白本和久	福中眞美	吉村善明	片山誠也	改正大祐	森雄亮	橋本宏淳	梶井憲子	辰巳綾子	芦谷真治	伊木まり子	塩見牧子	神山さとし	加藤裕美	中嶋宏明	中尾節子	高杉千代子
令和5年度生駒市一般会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

◎議長(吉村善明)は、議決に加わらないため、「—」と表示しています。

○=原案賛成 ●=原案反対

◎会派名:共産党(日本共産党)、公明党(生駒市議会公明党)、維新(日本維新の会)、無(無会派)

全会一致で原案可決・承認・同意・了承とした議案

- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・令和4年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・令和4年度生駒市水道事業会計予算繰越計算書
- ・令和4年度生駒市下水道事業会計予算繰越計算書
- ・生駒市国民保護計画の変更の報告について
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて
(令和5年度生駒市一般会計補正予算(第2回))
- ・令和5年度生駒市一般会計補正予算(第3回)
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・令和5年度生駒市水道事業会計補正予算(第1回)
- ・令和5年度生駒市病院事業会計補正予算(第1回)
- ・篤志寄附基金条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市副市長の選任について
- ・生駒市農業委員会委員の任命について
- ・生駒市病院事業推進委員会委員の委嘱について
- ・財産の取得について
- ・特別支援教育への国の対応拡充を求める意見書(案)

就任あいさつ



恵比須幹夫 副議長 吉村善明 議長

本年4月に統一地方選挙が行われ、生駒市議会においても22名の新たな顔ぶれのもと新任期がスタートしました。

また、5月には約3年間市民生活に多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変更となり、日常が戻りつつあります。しかしながら、物価高騰の影響を受けた市民生活、地域経済への支援など、多くの課題が山積し、対応が求められています。

私どもとしても、議員それぞれの多様な意見を尊重し、十分な議論を尽くすことで、時代の変化に的確に対応できるよう、迅速かつ適正な議会運営に取り組む所存でございますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「いこま市議会のうごき」アンケート

今後の編集の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。

回答方法 締切：8月15日(火)

【インターネット】 <https://www.city.ikoma.lg.jp/cmsform/enquete.php?id=2303>



【FAX】 0743-74-9481

【郵便】 〒630-0288 生駒市東新町8番38号 議会事務局あて

※ 郵便の場合は、下のアンケートに記入のうえ切り取っていただき、はがきに貼り付けるか、封筒に入れて郵送してください。

絵画を展示しています

生駒市議会では、開かれた議会の取組の一環として、市役所5階のロビーをギャラリーとして開放しています。

みなさまからは、気軽に芸術作品に触れることができ、心が和むなど大変ご好評をいただいております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

編集後記

先の生駒市議会議員選挙により、広報広聴委員会も新しいメンバーで構成する運びとなりました。

今回より「いこま市議会のうごき」も掲載内容を一部変更しました。

「市民のみなさまからの声」を積極的に反映したく、従来の「市議会用語解説」のスペースを「アンケート様式」に変更しました。市民のみなさまの忌憚のないご意見やご質問を、よろしくお願います。

「いこま市議会のうごき No.155」質問項目と回答

問1 年代をお伺いします。

- A 18歳未満 B 18～39歳 C 40～64歳
- D 65～79歳 E 80歳以上

問2 生駒市議会の活動などの情報はどこから入手していますか。(複数回答可)

- A いこま市議会のうごき B 市議会ホームページ
- C 市議会議員 D インターネット議会ライブ中継
- E 新聞 F その他 ()

問3 「いこま市議会のうごき」で関心のある記事は何ですか。(複数回答可)

- A 審議したおもな議案 B 一般質問
- C 議決結果賛否一覧
- D その他 ()

問4 「いこま市議会のうごき」について、ご意見・ご要望や読んでみたい記事などがあればご自由にお書きください。